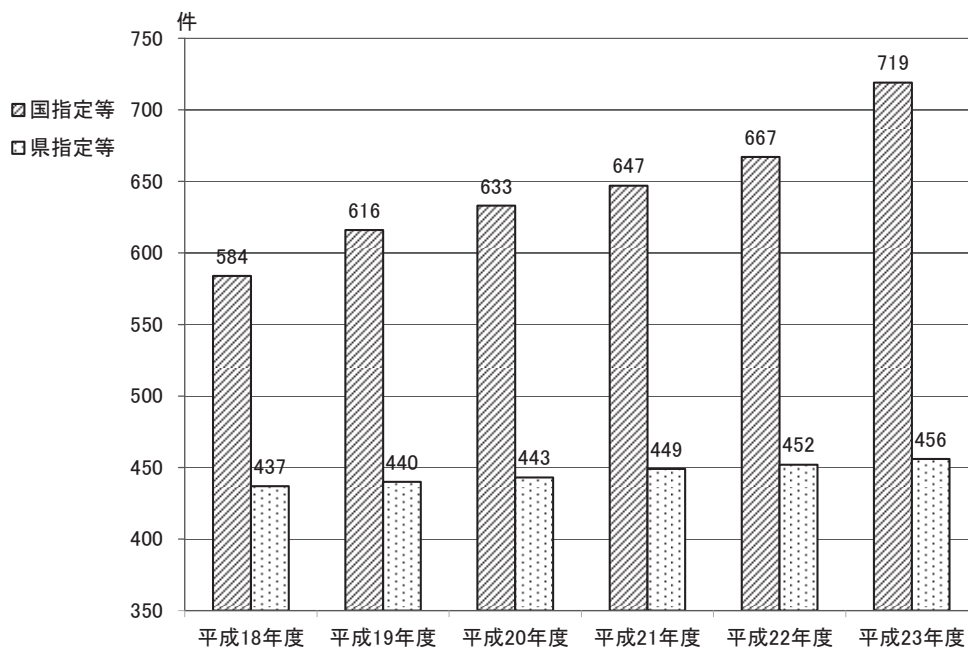


(2) 文化財の保護・継承・活用

現状と課題

- 県民の貴重な共有財産である文化財を安定的に保護し、後世に継承していく必要があります。
- 文化的景観や比較的時代の新しいものなど保護対象が拡大するとともに保護手法も多様化してきており、時代のニーズへの対応が求められています。
- 地域の歴史・伝統・文化を地域の文化創造や魅力づくりに生かすとともに、地域資源・観光資源として活用していくことが期待されています。

図7-(1)-① 国・県指定等文化財の件数の推移



文化財・生涯学習課調べ

第1次計画の成果と課題

- 国・県指定等文化財の件数については、4年間で既に目標値を上回る実績を達成していますが、今後は文化財のより有効な活用やその体制づくりが求められています。

【第1次計画 目標達成見込】			
達成目標	目標値	H23 実績値	達成予測
国・県指定等文化財の件数	1,100 件	1,175 件	達成見込み

成果目標

- 所有者、行政、県民が協調して適切な文化財保護の推進を図ります。
- 文化財の新たな価値を引き出していきます。

測定目標

測定指標項目	現状値	平成 29 年度の目標	備考
国・県指定等文化財の件数	1,175 件 (平成 23 年度末)	1,250 件	文化財・生涯学習課調べ
県立歴史館入館者数	94,234 人 (平成 23 年度)	100,000 人	文化財・生涯学習課調べ

主な施策の展開

文化財の保護・継承・活用を促進するために、次のような取組を進めます。

① 文化財の保護、継承

- 文化財の現状把握や地域住民の文化財保護活動への支援を行い、文化財の保護と継承を図ります。【文化財・生涯学習課】
- 開発事業との調整により、埋蔵文化財の保護を図るとともに、記録保存の必要な遺跡については、発掘調査を実施します。【文化財・生涯学習課】
- 地域の文化財に親しむ機会を提供するとともに、考古・文献史資料などの保存・活用を推進します。【文化財・生涯学習課】

② 文化財の活用

- 歴史的景観の保持・保存の取組への支援などにより文化財を生かした地域づくりや観光振興を図ります。【文化財・生涯学習課】
- 世界文化遺産登録に向けた地元市町村の活動を支援します。【文化財・生涯学習課】
- 県立歴史館を中心とした県民の歴史・文化の拠点づくりを推進します。【文化財・生涯学習課】



重要無形民俗文化財「雨宮の神事芸能」



重要伝統的建造物群保存地区 海野宿